

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成19年2月8日(2007.2.8)

【公開番号】特開2004-201322(P2004-201322A)
 【公開日】平成16年7月15日(2004.7.15)
 【年通号数】公開・登録公報2004-027
 【出願番号】特願2003-418668(P2003-418668)
 【国際特許分類】

H O 4 L 12/56 (2006.01)

H O 4 M 11/00 (2006.01)

【F I】

H O 4 L 12/56 A

H O 4 M 11/00 3 0 2

【手続補正書】
 【提出日】平成18年12月14日(2006.12.14)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

サーバ計算機システムおよび無線装置を含み、該無線装置が、前記無線装置と前記サーバ計算機システムとの間に介在するキャリアネットワークとはじめにコネクションを確立することによって、前記サーバ計算機システムとデータコネクションを確立することができる無線キャリアネットワーク内において、前記サーバ計算機システムが、前記無線装置を前記サーバ計算機システムと連動させ、ある期間中に継続的に前記サーバ計算機システムとオンラインのように見せることができる方法であって、その期間中に前記無線装置が前記キャリアネットワークと継続的に接続されている必要がなく、該方法は、

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する動作と、

前記サーバ計算機システムと確立された現在のデータコネクションがないにもかかわらず、前記無線装置が前記ネットワークサービスにサインインしていると判断する動作と、

前記無線装置が前記キャリアネットワークとアクティブなデータセッションを有する必要のないトランスポート機構を使用して、前記情報の少なくとも一部を前記無線装置へ伝送する動作と

を備えることを特徴とする方法。

【請求項2】

前記情報の少なくとも一部を前記無線装置へ伝送する前記動作は、
 前記無線装置へ前記情報のプレビュー部分を伝送する動作
 を備えることを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】

伝送した前記情報は受信した前記情報の全てよりも少なく、
 前記情報の前記少なくとも一部を伝送後に、前記無線装置から前記サーバ計算機システムとのデータコネクションを確立する要求を受信する動作と、
 前記無線装置とのデータコネクションを確立する動作と、
 該データコネクション上で前記無線装置へ受信した前記情報の残余部分を提供する動作

と

をさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

受信した前記情報の前記残余部分をキューに配置する動作

をさらに備えることを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記無線装置が前記キャリアネットワークとアクティブなデータセッションを有する必要のないトランスポート機構を使用して、前記情報の少なくとも一部を前記無線装置へ伝送する前記動作は、

ショートメッセージサービス方式を使用して、前記情報の前記少なくとも一部を前記無線装置へ伝送する動作

を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する前記動作は、

前記ネットワークサービスがインスタントメッセージサービスであり、インスタントメッセージが前記無線装置へ通信されると決定する動作

を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する前記動作は、

前記ネットワークサービスがインスタントメッセージサービスであり、インスタントメッセージのプレゼンス情報が前記無線装置へ通信されると決定する動作

を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する前記動作は、

前記ネットワークサービスが電子メールサービスであり、新たに受信した電子メールの通知が前記無線装置へ通信されると決定する動作

を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する前記動作は、

前記ネットワークサービスが電子メールサービスであり、新たに受信した電子メールが前記無線装置へ通信されると決定する動作

を備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

サーバ計算機システムおよび無線装置を含み、該無線装置が、前記無線装置と前記サーバ計算機システムとの間に介在するキャリアネットワークとはじめにコネクションを確立することによって、前記サーバ計算機システムとデータコネクションを確立することができる無線キャリアネットワーク内において使用するコンピュータプログラムであって、前記サーバ計算機システムが、前記無線装置を前記サーバ計算機システムと連動させ、ある期間中に継続的に前記サーバ計算機システムとオンラインのように見せることができる方法であって、その期間中に前記無線装置が前記キャリアネットワークと継続的に接続されている必要のない該方法を実行する該コンピュータプログラムは、

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネッ

トワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定するコンピュータ実行可能命令と、

前記サーバ計算機システムと確立された現在使用できるデータコネクションがないにもかかわらず、前記無線装置が前記ネットワークサービスにサインインしていると判断するコンピュータ実行可能命令と、

前記無線装置が前記キャリアネットワークとアクティブなデータセッションを有する必要のないトランスポート機構を使用して、前記情報の少なくとも一部が前記無線装置へ伝送されるようにするコンピュータ実行可能命令と

を含むことを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 11】

伝送した前記情報は受信した前記情報の全てよりも少なく、

前記情報の前記少なくとも一部を伝送後に、前記無線装置から前記サーバ計算機システムとデータコネクションを確立する要求の受信を検知するコンピュータ実行可能命令と、

前記無線装置とのデータコネクションを確立するコンピュータ実行可能命令と、

該データコネクション上で前記無線装置へ受信した前記情報の残余部分を提供するコンピュータ実行可能命令と

をさらに含むことを特徴とする請求項 10 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 12】

前記無線装置が前記キャリアネットワークとアクティブなデータセッションを有する必要のないトランスポート機構を使用して、前記情報の少なくとも一部が前記無線装置へ伝送されるようにする前記コンピュータ実行可能命令は、

ショートメッセージサービスを使用して、前記情報の前記少なくとも一部が前記無線装置へ伝送されるようにするコンピュータ実行可能命令

を含むことを特徴とする請求項 10 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 13】

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する前記コンピュータ実行可能命令は、

前記ネットワークサービスがインスタントメッセージサービスであり、インスタントメッセージが前記無線装置へ通信されると決定するコンピュータ実行可能命令

を含むことを特徴とする請求項 10 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 14】

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する前記コンピュータ実行可能命令は、

前記ネットワークサービスがインスタントメッセージサービスであり、インスタントメッセージのプレゼンス情報が前記無線装置へ通信されると決定するコンピュータ実行可能命令

を含むことを特徴とする請求項 10 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 15】

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する前記コンピュータ実行可能命令は、

前記ネットワークサービスが電子メールサービスであり、新たに受信した電子メールの通知が前記無線装置へ通信されると決定するコンピュータ実行可能命令

を含むことを特徴とする請求項 10 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 16】

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する前記コンピュータ実行可能命令は、

前記ネットワークサービスが電子メールサービスであり、新たに受信した電子メールが前記無線装置へ通信されると決定するコンピュータ実行可能命令

を含むことを特徴とする請求項 10 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 17】

サーバ計算機システムおよび無線装置を含み、該無線装置が、前記無線装置と前記サーバ計算機システムとの間に介在するキャリアネットワークとはじめにコネクションを確立することによって、前記サーバ計算機システムとデータコネクションを確立することができる無線キャリアネットワーク内において、前記サーバ計算機システムが、前記無線装置を前記サーバ計算機システムと連動させ、ある期間中に継続的に前記サーバ計算機システムとオンラインのように見せることができる方法であって、その期間中に前記無線装置が前記キャリアネットワークと継続的に接続されている必要がなく、該方法は、

前記無線装置のユーザに対するネットワークサービスのオンライン表示を提供する方法で、受信された情報の少なくとも一部を前記無線装置へ提供するステップと、

前記サーバ計算機システムとデータコネクションを確立する要求を前記無線装置から受信する動作と、

前記無線装置とデータコネクションを確立する動作と、

前記無線装置との前記データコネクション上で前記受信された情報の残りの部分を提供する動作と

を備えることを特徴とする方法。

【請求項 18】

前記無線装置のユーザに対するネットワークサービスのオンライン表示を提供する形態で、受信された情報の少なくとも一部を前記無線装置へ提供する前記ステップは、

前記ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置の前記ユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する動作と、

前記サーバ計算機システムと確立された現在使用できるデータコネクションがないにもかかわらず、前記無線装置が前記ネットワークサービスにサインインしていると判断する動作と、

前記無線装置が前記キャリアネットワークとアクティブなデータセッションを有する必要のないトランスポート機構を使用して、前記情報の少なくとも一部を前記無線装置へ伝送する動作と

を備えることを特徴とする請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

サーバ計算機システムおよび無線装置を含み、該無線装置は、前記無線装置と前記サーバ計算機システムとの間に介在するキャリアネットワークとはじめにコネクションを確立することによって、前記サーバ計算機システムとデータコネクションを確立することができる無線キャリアネットワーク内において、前記サーバ計算機システムは、前記無線装置を前記サーバ計算機システムと連動させ、ある期間中に継続的に前記サーバ計算機システムとオンラインのように見せることができる方法であって、その期間中に前記無線装置が前記キャリアネットワークと継続的に接続されている必要がなく、該方法は、

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する動作と、

現在使用することができる前記無線装置とのデータセッションの有無にかかわらず、前記データコネクション上で前記無線装置へ前記情報を伝送する動作と

を備えることを特徴とする方法。

【請求項 20】

サーバ計算機システムおよび無線装置を含み、該無線装置が、前記無線装置と前記サーバ計算機システムとの間に介在するキャリアネットワークとはじめにコネクションを確立することによって、前記サーバ計算機システムとデータコネクションを確立することがで

きる無線キャリアネットワーク内において、前記サーバ計算機システムが、前記無線装置を前記サーバ計算機システムと連動させ、ある期間中に継続的に前記サーバ計算機システムとオンラインのように見せることができる方法であって、その期間中に前記無線装置が前記キャリアネットワークと継続的に接続されている必要がなく、該方法は、

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置へ通信されると決定する動作と、

前記無線装置が前記ネットワークサービスにサインインしていること、および前記サーバ計算機システムと確立されたデータコネクションを有することを特定する動作と、

前記データコネクション上で前記無線装置へ第1の情報を伝送する動作と、

前記無線装置の前記ユーザに対する前記ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記ネットワークサービスに関連付けされた第2の情報が前記無線装置へ伝送されると後に判断する動作と、

前記サーバ計算機システムと確立された現在のデータコネクションが存在しないにもかかわらず、前記無線装置が前記ネットワークサービスにサインインしていることを特定する動作と、

前記無線装置が前記キャリアネットワークとアクティブなデータセッションを有する必要のないトランスポート機構を使用して、前記第2の情報の少なくとも一部を前記無線装置へ伝送する動作と

を備えることを特徴とする方法。

【請求項21】

前記トランスポート機構は、ショートメッセージサービス方式のトランスポート機構であることを特徴とする請求項20に記載の方法。

【請求項22】

前記データコネクションは、GPRS方式のデータコネクションであることを特徴とする請求項21に記載の方法。

【請求項23】

前記データコネクションは、回線交換方式のデータコネクションであることを特徴とする請求項21に記載の方法。

【請求項24】

前記データコネクションは、パケット交換方式のデータコネクションであることを特徴とする請求項21に記載の方法。

【請求項25】

前記データコネクションは、GPRS方式のデータコネクションであることを特徴とする請求項20に記載の方法。

【請求項26】

前記データコネクションは、回線交換方式のデータコネクションであることを特徴とする請求項20に記載の方法。

【請求項27】

前記データコネクションは、パケット交換方式のデータコネクションであることを特徴とする請求項20に記載の方法。

【請求項28】

請求項20に記載の方法を実行するためのコンピュータプログラム。

【請求項29】

サーバ計算機システムおよび無線装置を含み、該無線装置が、前記無線装置と前記サーバ計算機システムとの間に介在するキャリアネットワークとはじめにコネクションを確立することによって、前記サーバ計算機システムとデータコネクションを確立することができる無線キャリアネットワーク内において、前記無線装置が、前記サーバ計算機システムと連動して、ある期間中に継続的に前記サーバ計算機システムとオンラインのように見せることができる方法であって、その期間中に前記無線装置が前記キャリアネットワークと

継続的に接続されている必要がなく、該方法は、

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置から前記サーバ計算機システムへ通信されると決定する動作と、

前記ネットワークサービスを提供するアプリケーションプログラムが、前記サーバ計算機システムへ前記情報を伝送するときに使用するトランスポート機構を複数のトランスポート機構の内から選択する動作であり、該複数のトランスポート機構が、データコネクションを必要とする1つまたは2つ以上のトランスポート機構およびデータコネクションを必要としない1つまたは2つ以上のトランスポート機構を含む動作と、

前記選択されたトランスポート機構を使用して前記キャリアネットワーク上で前記情報を前記サーバ計算機システムへ伝送する動作と
を備えることを特徴とする方法。

【請求項30】

データコネクションを必要としない1つまたは2つ以上の前記トランスポート機構の1つは、ショートメッセージサービス方式のトランスポート機構であることを特徴とする請求項29に記載の方法。

【請求項31】

データコネクションを必要とする1つまたは2つ以上の前記トランスポート機構の1つは、GPRS方式、回線交換方式のトランスポート機構およびパケット交換方式のトランスポート機構のうちの1つ以上を含むことを特徴とする請求項30に記載の方法。

【請求項32】

データコネクションを必要とする1つまたは2つ以上の前記トランスポート機構の1つは、GPRS方式、回線交換方式のトランスポート機構およびパケット交換方式のトランスポート機構のうちの1つ以上を含むことを特徴とする請求項29に記載の方法。

【請求項33】

前記ネットワークサービスはインスタントメッセージサービスであり、前記情報はインスタントメッセージを含むことを特徴とする請求項29に記載の方法。

【請求項34】

前記ネットワークサービスはインスタントメッセージサービスであり、前記情報は更新されたインスタントメッセージのプレゼンス情報を含むことを特徴とする請求項29に記載の方法。

【請求項35】

前記ネットワークサービスは電子メールサービスであり、前記情報は移動体発の電子メールを含むことを特徴とする請求項29に記載の方法。

【請求項36】

前記ネットワークサービスを提供するアプリケーションプログラムが、前記サーバ計算機システムへ前記情報を伝送するときに使用するトランスポート機構を複数のトランスポート機構の内から選択する前記動作は、

前記アプリケーションが、データコネクションを必要としない1つまたは2つ以上の前記トランスポート機構の1つを選択する動作
を備えることを特徴とする請求項29に記載の方法。

【請求項37】

前記無線装置における現在の音声コネクションのために、データコネクションが使用できないことを特徴とする請求項36に記載の方法。

【請求項38】

前記情報は、他のインスタントメッセージの参加者に、前記ユーザが使用可能でないことを通知するプレゼンス情報を含むことを特徴とする請求項37に記載の方法。

【請求項39】

1つまたは2つ以上のデータのトランスポート機構は、データコネクションを必要としない1つまたは2つ以上の前記トランスポート機構よりも使用料が高いことを特徴とする

請求項 3 6 に記載の方法。

【請求項 4 0】

前記情報は、データコネクションを必要としない 1 つまたは 2 つ以上の前記トランスポート機構によって提供される 1 つのメッセージ内で伝送されることを特徴とする請求項 3 6 に記載の方法。

【請求項 4 1】

サーバ計算機システムおよび無線装置を含み、該無線装置が、前記無線装置と前記サーバ計算機システムとの間に介在するキャリアネットワークとはじめにコネクションを確立することによって、前記サーバ計算機システムとデータコネクションを確立することができる無線キャリアネットワーク内において使用するコンピュータプログラムであって、前記サーバ計算機システムが、前記無線装置を前記サーバ計算機システムと連動させ、ある期間中に、その期間中に前記無線装置が前記キャリアネットワークと継続的に接続されなければならないことを要せずに、継続的に前記サーバ計算機システムとオンラインのように見せることができる方法を実行する前記コンピュータプログラムは、

ネットワークサービスに関連付けられた情報が、前記無線装置のユーザに対する該ネットワークサービスのオンライン表示を維持するために、前記無線装置から前記サーバ計算機システムへ通信されると決定するコンピュータ実行可能命令と、

前記サーバ計算機システムへ前記情報を伝送するときに使用するトランスポート機構を、データコネクションを必要とする 1 つまたは 2 つ以上のトランスポート機構およびデータコネクションを必要としない 1 つまたは 2 つ以上のトランスポート機構を含む複数のトランスポート機構の中から選択するコンピュータ実行可能命令と、

前記選択されたトランスポート機構を使用して前記キャリアネットワーク上で前記情報が前記サーバ計算機システムへ伝送されるようにするコンピュータ実行可能命令と

を備えたことを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 4 2】

請求項 1 0、2 8 および 4 1 に記載のコンピュータプログラムを記録したことを特徴とする 1 つまたは 2 つ以上のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 4 3】

前記コンピュータ読み取り可能な媒体は、物理記録媒体であることを特徴とする請求項 4 2 に記載の 1 つまたは 2 つ以上のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 4 4】

前記物理記録媒体は、システムメモリであることを特徴とする請求項 4 3 に記載の 1 つまたは 2 つ以上のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 4 5】

前記物理記録媒体は、永久記録媒体であることを特徴とする請求項 4 3 に記載の 1 つまたは 2 つ以上のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。